

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	90時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン、3級自動車ジーゼル・エンジン、3級自動車シャシ		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ガソリンエンジン総論	内燃機関の概論・分類・作動方式・燃焼方式・バルブタイミング
	2	エンジン本体	ガソリンエンジンの概要・構造・機能
	3	潤滑装置	オイルの循環・構造・機能
	4	冷却装置	冷却装置の概要・構造・機能
	5	燃料装置	インジェクタ・ポンプの概要・構造・機能
	6	シャシ総論	原理と性能・構成・安全装置
	7	動力伝達装置	クラッチ・ミッション等の動力伝達装置の概要・構造・機能
	8	アクスル・サスペンション・ステアリング装置	スプリング・ショックアブソーバ・ステアリングの概要・構造・機能
	9	ホイール・タイヤ・ブレーキ装置	ホイール・タイヤ・ディスクブレーキ・ドラムブレーキの概要・構造・機能
	10	フレーム・ボディー	フレーム・ボディーの概要・構造・機能
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン、3級自動車ジーゼル・エンジン、3級自動車シャシ		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ジーゼルエンジン総論・エンジン本体	内燃機関の概論・分類・作動方式・燃焼方式・バルブタイミング ジーゼルエンジンの概要・構造・機能
	2	燃料装置	インジェクションポンプの種類・構造・機能
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	力学・数学	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	自動車整備士に必要な基礎的な計算が出来るようになる		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学・補助プリント		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	基礎知識	単位・単位の変換
	2	基礎的な原理・法則	変速比、トルク、回転数
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電気・電子理論	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験： 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義：○	演習：	実習： 実技：
時間数	36時間	週時間数	5.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	電気・電子の概要	電気と磁気・電子
	2	電気・電子の概要	電気と磁気・電流の三作用
	3	電気・電子の概要	電気と磁気・電源と起電力
	4	電流の種類	直流と交流
	5	接続の種類	直列接続と並列接続
	6	基礎知識	電圧降下
	7	基礎知識	電力及び電力量
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	材料学	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験： 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義：○	演習：	実習： 実技：
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	自動車の材料	鉄鋼・鋳鉄・鋼
	2	自動車の材料	焼結合金・製法・特性・用途
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	燃料・潤滑剤	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	燃料	燃料の種類(ガソリン、軽油、LPG)
	2	燃料	燃焼の仕方
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	14.4時間	週時間数	5.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	エンジン本体(ガソリン)	エンジン本体(シリンダヘッド・ブロック・ピストン等)の整備
	2	潤滑装置(ガソリン)	潤滑装置の整備
	3	冷却装置・燃料装置(ガソリン)	冷却装置・燃料装置の整備
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン		指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	21.6時間	週時間数	5.4時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	3級自動車ジーゼル・エンジン			
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	エンジン本体(ジーゼル)	エンジン本体(シリンダヘッド・ブロック・ピストン等)の整備	
	2	潤滑装置・冷却装置(ジーゼル)	潤滑装置の整備	
	3	燃料装置(ジーゼル)	インジェクションポンプの整備	
	4	吸排気装置(ジーゼル)	吸排気装置の整備	
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験： 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義：○	演習：	実習： 実技：
時間数	36時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車シャシ		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	動力伝達装置	動力伝達装置(クラッチ)の整備
	2	動力伝達装置	動力伝達装置(ミッション)の整備
	3	アクスル及びサスペンション	アクスル及びサスペンションの整備
	4	ステアリング装置	ステアリング装置の整備
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	36時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	半導体	半導体の種類・特徴
	2	バッテリー	バッテリーの概要・構造・機能・整備
	3	始動装置	始動装置の概要・構造・機能・整備
	4	充電装置	充電装置の概要・構造・機能・整備
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	整備作業機器	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車整備作業		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	整備の基礎知識	整備作業の目標・労働安全・公害
	2	基礎整備作業	ハンドツールの使い方
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	測定機器	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車整備作業		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	エンジン・シャシ点検作業	ノギス、マイクロメータ、ダイヤル・ゲージ、Vブロックの使い方
	2	エンジン・シャシ点検作業	シリンダ・ゲージ、シクネス・ゲージ使い方
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	検査機器	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車整備作業		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	検査整備作業	ブレーキテスタ・サイドスリップテスタ・スピードメータテスタの使い方
	2	検査整備作業	音量計・ヘッドライトテスタ・ホイールアライメントテスタの使い方
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	手仕上げ工作	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	18時間	週時間数	18時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	真鍮棒、弓ノコ、鉄板		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ミニピストン作成	弓のこを使った材料の切り出し・真鍮によるミニピストン作り
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	機械工作	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	9時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	グラインダー、卓上ボール盤、電気ドリル		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	作業機械の取り扱い	グラインダー・ボール盤等の電気機械の取り扱い
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	基本計測	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	45時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	ノギス、マイクロメーター、シックネスゲージ、ストレートエッジ等		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	計測機器の説明・測定	ノギス、マイクロメーターで計測 シリンダゲージ・ストレートエッジ・シックネスゲージ・スコヤで計測
	2	エンジン基本計測	プラグギャップゲージ・タイミングライトで計測 コンプレッションゲージ・バキュームゲージで計測
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	140時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン単体(ガソリン・ジーゼル)		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン単体(4気筒)分解・名称確認
	2	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン単体(4気筒)計測・組付け
	3	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン単体(4気筒)分解・名称確認
	4	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン単体(4気筒)計測・組付け
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	67時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン本体(特殊エンジン)		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	特殊エンジン	ロータリーエンジン・水平対向エンジン単体の分解・名称確認
	2	特殊エンジン	ロータリーエンジン・水平対向エンジン単体の計測・組付け
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	動力伝達装置	クラッチ・ミッションの脱着・分解・組立
	2	アクスル及びサスペンション	前後サスペンション・アクスルの脱着・分解・組立
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	135時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ステアリング装置	ステアリング装置の脱着・分解・組立
	2	ホール・アライメント	ホール・アライメントの測定・調整
	3	ブレーキ装置	ディスクブレーキ装置の脱着・分解・組立
	4	点検整備	定期点検の内容確認・実施
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両、電装品単品		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	サーキットテスタ	サーキットテスタでの測定方法
	2	バッテリー	バッテリーの点検・脱着
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	126時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両、電装品単品		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	始動装置	スターターモータの脱着・分解・組立・点検
	2	充電装置	オルタネータの脱着・分解・組立・点検
	3	点火装置	ディストリビュータの脱着・分解・組立・点検
	4	予熱装置	グロープラグの脱着・分解・組立・点検
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	OA実習	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Excelの基本操作が出来るようになる ・簡単な関数が組めるようになる ・グラフが作成できるようになる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	Excel基礎学習・ノートパソコン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	Excel基礎学習	起動、画面構成、入力設定
	2	Excel基礎学習	セルの選択、データ入力
	3	Excel基礎学習	セルの書式設定
	4	Excel基礎学習	行と列の編集
	5	Excel基礎学習	行と列の編集
	6	Excel基礎学習	ブックの保存、終了
	7	Excel基礎学習	関数とグラフ
	8	Excel基礎学習	関数とグラフ
	9	Excel基礎学習	データ抽出
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	OA実習	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	3.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Excelの基本操作が出来るようになる ・簡単な関数が組めるようになる ・グラフが作成できるようになる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	Excel基礎学習・ノートパソコン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	Excelのまとめ	前期の総復習
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリンエンジン・3級自動車ジーゼルエンジン・3級自動車シャシ・3級自動車整備士過去問題プリント		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ
	2	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ
	3	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ
	4	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ
	5	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ
	6	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ
	7	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ
	8	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ
	9	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	21.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	面接対策&ビジネスマナーテキスト・ワークブック		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ
	2	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ
	3	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ
	4	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ
	5	二輪	3級二輪過去問題プリントにて復習・まとめ
	6	二輪	3級二輪過去問題プリントにて復習・まとめ
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	面接対策 & ビジネスマナーテキスト・ワークブック		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	社会人になるとは	心構え・求められる資質・職場での基本マナー
	2	基本動作・言葉遣い	姿勢・歩き方・表情・発声練習・敬語の基本・話し方・聞き方
	3	面接の目的	面接について考える
	4	自己分析・自己PR・志望動機作成	自己分析をし自己PR・志望動機の作成
	5	履歴書作成	履歴書の書き方と作成
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	81時間	週時間数	14.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ガソリンエンジン総論	燃焼方式・バルブタイミング・性能
	2	ガソリンエンジン本体	レシプロエンジンの概要・構造・機能
	3	潤滑・冷却装置	オイルの循環・油圧制御・電動ファン・電動ウォーターポンプの構造・機能
	4	燃料・吸排気装置	燃料噴射装置・過給機の概要・構造・機能
	5	シャシの総論	自動車の発達・性能
	6	動力伝達装置	AT・CVTの構造・機能
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学		指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	54時間	週時間数	14.4時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	2級自動車シャシ・2級2輪自動車・2級自動車ジーゼルエンジン			
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	アクスル及びサスペンション	エアサスペンション・電子制御式サスペンションの構造・機能	
	2	スタアリング装置・ブレーキ装置	パワーステアリング・エアブレーキの構造・機能	
	3	二輪の総論・エンジン・シャシ	二輪の発達・性能・エンジン本体・動力伝達装置の構造・機能	
	4	ジーゼルエンジン燃料装置・予熱装置	高圧燃料噴射装置・予熱装置の概要・構造・機能	
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	力学・数学	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	基礎的な原理・法則	荷重(テコの原理)・軸重・トルク・軸トルクの計算の計算
	2	自動車の諸元	変速比・自動車に働く抵抗・駆動力・登坂能力・燃料消費率の計算
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電気・電子理論	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	36時間	週時間数	5.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	半導体の基礎	概要
	2	半導体の基礎	半導体の種類と特質
	3	半導体の基礎	ダイオードの種類・特質
	4	半導体の基礎	トランジスタの種類
	5	半導体の基礎	トランジスタの回路・増幅作用
	6	半導体の基礎	論理回路の種類・特質
	7	半導体の基礎	サーミスタの回路・圧電素子
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	図面学	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	補助プリント		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	製図の基本・形体の精度	製図の投影方法・大きさや尺度・図形の表し方等
	2	表面性状の図示方法・機械要素部品の製図	表面粗さ・ねじ・転がり軸受け・歯車・ばねの製図
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン		指導担当者名	根本 勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	9時間	週時間数	1.8時間		
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 				
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	潤滑装置	潤滑系統の点検・整備		
	2	冷却装置	電動ファンの点検・整備		
	3	エンジンの点検整備(ガソリン)	エンジンの基本点検		
	4	エンジンの点検整備(ガソリン)	自己診断システムの点検		
	5	エンジンの点検整備(ガソリン)	自己診断システムの点検		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ジーゼルエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	エンジンの点検整備(ジーゼル)	エンジンの基本点検
	2	エンジンの点検整備(ジーゼル)	インジェクションポンプの点検・整備
	3	エンジンの点検整備(ジーゼル)	インジェクションポンプの点検・整備
	4	エンジンの点検整備(ジーゼル)	高圧燃料噴射装置の点検・整備
	5	エンジンの点検整備(ジーゼル)	自己診断システムの点検
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	動力伝達装置	クラッチ・AT・CVTの整備
	2	アクスル及びサスペンション	エアサスペンション・アクスルの整備
	3	ステアリング装置	パワーステアリングの整備
	4	ホイール及びタイヤ	ホイール・タイヤの整備
	5	ホイールアライメント	キャンバ・キャスタ・キングピン・トーの測定・調整
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ブレーキ装置	エアブレーキ・補助ブレーキの整備
	2	保安基準適合性確保	概要・点検の目的
	3	保安基準適合性確保	各部の点検・検査用機器
	4	車検点検	車検点検の概要・内容
	5	定期点検	定期点検の概要・内容
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	バッテリー	バッテリーの整備
	2	始動装置	スターターモータの点検・整備
	3	充電装置	オルタネーターの点検・整備
	4	電子制御装置	概要・センサの構造・機能
	5	電子制御装置	アクチュエータの構造・機能
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	計器・警報装置	メーター・ホーンの概要・構造・機能・整備
	2	空気調和装置	エアコンの概要・構造・機能・整備
	3	電気装置の配線	電気配線の概要・構造・機能
	4	安全装置及び付属装置	エアバック・カーナビゲーションの構造・機能・整備
	5	回路図	回路図の解読方向
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	ガソリンエンジン故障原因探求	概要・効率的な診断・診断の基本(問診・現象確認・原因の推定・再発の防止)
	2	ガソリンエンジン故障原因探求	故障診断の進め方
	3	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン始動不能)
	4	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン不調)
	5	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン不調)
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャシ		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ジーゼルエンジン故障原因探求	概要・効率的な診断・診断の基本
	2	ジーゼルエンジン故障原因探求	故障診断の進め方・故障診断の手順
	3	シャシ故障原因探求	概要・効率的な診断・診断の基本
	4	シャシ故障原因探求	故障診断の進め方
	5	シャシ故障原因探求	故障診断の点検方法
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	検査学	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	27時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教本		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	道路運送車両法	自動車の種類・登録・点検整備制度
	2	道路運送車両法	検査・認証制度
	3	道路運送車両法	指定制度・届け出・手数料の納付
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車整備法規	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	27時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	道路運送車両の保安基準	自動車の構造・装置(原動機・シャシ関係)
	2	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(車体関係・公害防止関係)
	3	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(灯火関係・運転操作)
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン単体、実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	エンジン本体	エンジン本体の脱着・タイミングベルト・チェーンの脱着
	2	燃料装置	インジェクションポンプの脱着
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン単体、実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	冷却装置	電動ファンの点検
	2	エンジンの点検・整備	外部診断機による点検・調整
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	動力伝達装置	ATの分解・組立
	2	ブレーキ装置	ブレーキ単体の分解・組立
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ステアリング装置	ラックピニオン型・ボールナット型ステアリングの分解・組立
	2	ホイールアライメント	ホイールアライメントの調整
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	始動装置	スターターモータの脱着・点検・整備
	2	充電装置	オルタネータの脱着・点検・整備
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	点火装置	イグニッションコイルの脱着・点検・整備
	2	シヤン電装	基本的な回路図の読み方・現車を使つての確認
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	エンジン故障原因探求	エンジン故障時の基本点検・始動不能・不調の故障診断
	2	エンジン故障原因探求	出力不足・燃料消費量多い車の故障診断
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	63時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	シャシ故障診断	ATの故障診断
	2	シャシ故障診断	ABSの故障診断
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	検査作業	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	54時間	週時間数	28.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	検査用機器	ブレーキテスタ・ヘッドライトテスタ・サイドスリップテスタの用途、構造、機能の確認
	2	継続検査作業	受け入れ検査・中間検査・完成検査・まとめ
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	OA実習	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・wordの基本操作を学び、案内文などを作成できる		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	word基礎学習・ノートパソコン		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	word基礎学習	起動、画面構成、入力設定
	2	word基礎学習	文章入力、修正と記号
	3	word基礎学習	章末問題 文章の入力
	4	word基礎学習	文章の書式設定、スクロールと画面操作
	5	word基礎学習	範囲選択、削除・コピー・移動の方法
	6	word基礎学習	改ページ、ヘッダーとフッターの挿入
	7	word基礎学習	文書の保存とファイル形式
	8	word基礎学習	章末問題 基本操作
	9	word基礎学習	章末問題 応用操作
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	OA実習	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	3.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・wordの基本操作を学び、案内文などを作成できる		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	word基礎学習・ノートパソコン		
授業外学習の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	word基礎学習	前期の総復習
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車整備士過去問・3級自動車ガソリンエンジン・3級自動車ジーゼルエンジン・3級自動車シャシ		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	自動車のセキュリティ	セキュリティの歴史
	2	自動車のセキュリティ	セキュリティの種類
	3	自動車のセキュリティ	セキュリティの重要性
	4	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	5	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	6	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	7	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	8	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	9	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	21.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級整備士過去問プリント・2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャシ・法令教本		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	国家2級整備士対策問題	2級エンジン分野過去問題
	2	国家2級整備士対策問題	2級シャシ分野別過去問題
	3	国家2級整備士対策問題	2級の基礎工学・法令分野別問題
	4	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	5	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	6	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	国家試験対策	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	27時間	週時間数	5.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級整備士過去問プリント・2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャシ・法令教本		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	国家2級整備士対策問題	2級エンジン分野過去問題
	2	国家2級整備士対策問題	2級シャシ分野別過去問題
	3	国家2級整備士対策問題	2級の基礎工学・法令分野別問題
	4	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	5	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	36時間	週時間数	7.2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の新技術、新機構を理解する ・車両安定制御やハイブリッド車の制御から自動運転や電気自動車などの基礎を習得する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	自動車新技術		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ハイブリッド車	概要、構造・機能、ハイブリッド車の制御系システム
	2	圧縮天然ガス自動車	CNG自動車燃料系、制御系システム
	3	筒内噴射式ガソリンエンジン	概要、燃料装置、高圧フューエルポンプ、電子制御スロットル装置、排ガス対策
	4	無段変速機	構成部品の構造・機能、制御系システム
	5	車両安定制御装置	概要、ブレーキアシスト、VSCS
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電気・電子理論	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電気回路の基礎を理解する ・テスターを用いて正確に回路の測定ができる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御、プリント		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	電気回路	概要、構成
	2	電気回路	電子回路の基本(電源、ヒューズ、スイッチ、負荷、配線)
	3	電気回路	直列接続と並列接続
	4	電気回路	電気回路の故障 断線と短絡の現象
	5	電気回路	電気回路の測定要領(プローブ、測定箇所) 電気回路の測定
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	材料学	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の基本を理解する ・材料の特性を生かした有効利用方について理解する ・新素材について学び、これからの自動車についても柔軟に対応できるようになる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理		
授業外学習の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	資源の有効利用	各種材料の特性
	2	資源の有効利用	各種材料のリサイクル
	3	材料力学	材料力学における基本理論
	4	材料力学	材料力学における基本理論
	5	新素材	無機材料の基礎
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	燃料・潤滑剤	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・石油系、天然ガスなど燃料の特性を理解する ・潤滑剤の基礎とエネルギーについて理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理、基礎自動車工学		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ガソリン、軽油	燃料と潤滑に関する基礎理論
	2	LPガス	燃料と潤滑に関する基礎理論
	3	エンジンオイル、ギヤオイル	潤滑剤の特性と熱機関への影響
	4	防火の知識	危険物の保管指定数量
	5	防災の知識	ハインリッヒの法則
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	図面学	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	1.8時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・図面の基礎について理解する ・図面より正確な寸法や、数値、データを読み取り理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	製図		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	CAD製図	概要・寸法CAD製図の規格
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	図面学	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	7.2時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・図面の基礎について理解する ・図面より正確な寸法や、数値、データを読み取り理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	製図		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	CAD製図	投影法形状のあらわし方
	2	性能曲線図	車両走行性能線図
	3	立体製図	部品分解図の表し方
	4	立体製図	部品分解図の表し方
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の新技術、新機構のエンジン整備方法を理解する ・ハイブリッドエンジン搭載車の点検手順を理解する ・CNG自動車と石油系燃料車の違いを理解し注意点を理解する ・CNG自動車、筒内噴射、コモンレール車などの高圧燃料系の特性を理解し、整備方法を理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	自動車新技術		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	エンジン点検・整備	ハイブリッド・システム点検・整備の注意点
	2	エンジン点検・整備	CNG自動車点検・整備
	3	エンジン点検・整備	筒内噴射式ガソリンエンジン 点検整備の要点高圧燃料系統、インジェクタ
	4	エンジン点検・整備	コモンレール式高圧燃料噴射システム 点検・整備 システム上の全般的な注意事項
	5	エンジン点検・整備	コモンレール式高圧燃料噴射システム 点検・整備 システム上の全般的な注意事項
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ		指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事			実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	18時間	週時間数	3.6時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新技術、新機構のシャシ整備方法を理解する ・CVT特有の点検整備の仕方を理解する 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	自動車新技術			
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	シャシ点検・整備	無段変速機(CVT)点検・整備 CVTフルード、レベル、セレクトレバー、インヒビタスイッチ	
	2	シャシ点検・整備	車両安定制御装置 VSCS装着車の注意事項、点検整備のポイント	
	3	シャシ点検・整備	SRSエアバッグ及びプリテンショナー・シート・ベルト システム整備上の注意事項	
	4	シャシ点検・整備	SRSエアバッグ及びプリテンショナー・シート・ベルト 点検整備のポイント	
	5	シャシ点検・整備	SRSエアバッグ及びプリテンショナー・シート・ベルト 廃棄要領	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	7.2時間	週時間数	7.2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の新技術、新機構の電装整備方法を理解する ・各種ECUの制御内容について理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	自動車の新技術		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	電気装置点検・整備	CAN通信の概要、CAN原理と基本構成
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	28.8時間	週時間数	7.2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の新技術、新機構の電装整備方法を理解する ・各種ECUの制御内容について理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	自動車の新技術		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	電気装置点検・整備	CAN通信システムの点検 CANバス信号回路の信号形態
	2	電気装置点検・整備	CAN通信システムの点検 回路点検
	3	電気装置点検・整備	CAN通信システムの点検 CAN通信信号の診断
	4	電気装置点検・整備	ECUの制御 ガソリンエンジンの作動制御モード、ディーゼルエンジンの作動制御モード
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合診断	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	1.8時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車整備に関する総合診断について理解する ・整備業界に従事するうえで、必要な接客マナーを習得する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	自動車整備に関する総合診断	サービス産業の概要、自動車整備事業
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合診断	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	7.2時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車整備に関する総合診断について理解する ・整備業界に従事するうえで、必要な接客マナーを習得する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	自動車整備に関する総合診断	サービス役務の基本 総合診断、整備計画、品質管理
	2	自動車整備に関する総合診断	サービス役務の基本 納車、整備後の支援、保障制度、苦情対応
	3	自動車整備に関する総合診断	接客の基本手法 サービスの基本理念、心得、真意
	4	自動車整備に関する総合診断	接客の基本手法 話し方、タイプと対応法、アドバイザーの禁句
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	環境保全	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	1.8時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界を取り巻く環境問題を把握し、環境保全の重要性を理解する ・リビルト品、中古品の活用により資源の有効利用について理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	地球規模の環境保全とその必要性	地球環境の全体像 環境保全の状況、環境保全の必要性
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	環境保全	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	7.2時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界を取り巻く環境問題を把握し、環境保全の重要性を理解する ・リビルト品、中古品の活用により資源の有効利用について理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	地球規模の環境保全とその必要性	環境保全の必要性 自動車に関わる環境問題
	2	地球規模の環境保全とその必要性	環境保全への取り組み
	3	資源の有効利用	有効利用の要件 有効利用による社会的貢献
	4	資源の有効利用	再利用部品の活用 中古部品の活用、リビルト品の活用
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	安全管理	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	1.8時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理をする事での様々なメリットを理解する。 ・災害についての知識を得る 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	安全管理の意義	安全管理の意義 安全管理の重要性
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	安全管理	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	7.2時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理をする事での様々なメリットを理解する。 ・災害についての知識を得る 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理		
授業外学習の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	安全管理の意義	安全管理と作業能率
	2	災害のあらまし	災害発生の仕組み
	3	災害のあらまし	不安全行動と不安全状態
	4	災害のあらまし	災害の起こる要件 災害防止の急所
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	整備作業機器	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	1.8時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・工具の取り扱いと作業上の注意事項を理解する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理		
授業外学習の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	作業上の注意事項	各種工具、機械設備の取り扱い 各種機器類の安全点検
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	整備作業機器	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	7.2時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・工具の取り扱いと作業上の注意事項を理解する		
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	作業上の注意事項	電気機器の取り扱い、作業の注意事項
	2	作業上の注意事項	各種工具、機械設備の取り扱い
	3	作業上の注意事項	各種機器類の安全点検
	4	作業上の注意事項	電気機器の取り扱い、作業の注意事項
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	測定機器	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	1.8時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・測定機器の取り扱いを理解する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	サーキットテストの活用	基本測定技術
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	測定機器	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	7.2時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	・測定機器の取り扱いを理解する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	オシロスコープの活用	オシロスコープの設定方法
	2	オシロスコープの活用	オシロスコープで行う点検
	3	外部診断機の活用	ダイアグノーシスコードの表示及び消去
	4	外部診断機の活用	アクティブテストでの点検
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車概論	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	1.8時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・構造力学の基礎を理解する ・計算ができる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	構造力学	構造力学に必要な算術計算
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車概論	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	16.2時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・構造力学の基礎を理解する ・計算ができる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	構造力学	構造力学に必要な算術計算
	2	構造力学	力の基礎
	3	構造力学	力の基礎
	4	構造力学	力のつり合い
	5	構造力学	反力
	6	構造力学	部材に生じる力
	7	構造力学	部材に生じる力
	8	構造力学	断面に関する数量
	9	構造力学	応力度
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	サービス・マネジメント	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	1.8時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション力を身につける ・ツールの活用方法を学び、より有効的なプレゼンテーション能力を身につける 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	ビジネスマナー		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	コミュニケーションの基礎	良好な状態、集団の意思決定
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	サービス・マネジメント	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	16.2時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション力を身につける ・ツールの活用方法を学び、より有効的なプレゼンテーション能力を身につける 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	ビジネスマナー		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	コミュニケーションの基礎	価値観の尊重
	2	意見を出すための基礎	意見、内容、留意点、意見形成
	3	プレゼンテーションツールの技術	ツールの種類、効果、ポイント
	4	プレゼンテーションツールの技術	ツール作成の基礎知識
	5	プレゼンテーションツールの技術	プレゼンテーションの留意点
	6	ビジネスコミュニケーションの技術	必要性、種類
	7	ビジネスコミュニケーションの技術	報告、連絡、相談
	8	論理的思考の基礎	思考の大切さ、データ・情報
	9	論理的思考の基礎	情報収集技術、表現の訓練
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	手仕上げ工作・機械工作	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	9時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・工作作業の流れを学び、作業の効率化を考える事ができるようになる ・安全作業を意識し、機械工作の危険性や流れを学ぶ。 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・作品評価 		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・真鍮棒 ・各種パイプ 		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	やすり、弓の子、タガネ、溶接機、グラインダを用いた金属加工	真鍮棒でのピストン作成、パイプ棚作成
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	基本計測	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	9時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なエンジン内部の計測作業を理解する ・マイクロメータ、ダイヤルゲージを使えるようになる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン単体、各種計測器		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	エンジン内部精密計測	ピストン外径、シリンダ内径、ヘッドひずみ測定
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	応用計測	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	9時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・計測作業の応用を理解する ・マイクロメータ、ダイヤルゲージを使えるようになる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン単体、各種計測器		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	エンジン内部の精密計測	ピストン外径、シリンダ内径、ヘッドひずみ測定
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	126時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の新技術、新機構のエンジン整備方法を理解する ・ハイブリッドエンジン搭載車の点検手順を理解する ・CNG自動車と石油系燃料車の違いを理解し注意点を理解する ・CNG自動車、筒内噴射、コモンレール車などの高圧燃料系の特性を理解し、整備方法を理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	各種エンジン単体、自動車新技術		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	エンジン整備作業	ハイブリッド(アトキンソンサイクル)分解・組立
	2	エンジン整備作業	直接噴射式エンジン分解・組立
	3	エンジン整備作業	コモンレールエンジン分解・組立
	4	エンジン整備作業	各エンジンの点検、整備
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備		指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事			実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	126時間	週時間数	36時間	
学習到達目標	・新技術、新機構のシャシ整備方法を理解する			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	CVT、EPS、ワゴンR、プリウス、自動車新技術			
授業外学習 の方法	レポート内容の復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	シャシ整備作業	EPS分解・組立・点検整備	
	2	シャシ整備作業	電子制御式AT分解・組立・点検整備	
	3	シャシ整備作業	CVT(無段変速機)分解・組立・点検整備	
	4	シャシ整備作業	ブレーキ装置(ABS)脱着・点検整備 SRSエアバッグ、脱着・点検整備	
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	73.8時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の新技術、新機構の電装整備方法を理解する ・各種ECUの制御内容について理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	フィット、ワゴンR、プリウス		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	エンジン電子制御高度故障診断技術	各センサの脱着、点検
	2	エンジン電子制御高度故障診断技術	各アクチュエータの脱着、点検
	3	エンジン電子制御高度故障診断技術	各アクチュエータの脱着、点検
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	52.2時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の新技術、新機構の電装整備方法を理解する ・各種ECUの制御内容について理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	フィット、ワゴンR、プリウス		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	シャシ電子制御高度故障診断技術	各センサの脱着、点検
	2	シャシ電子制御高度故障診断技術	各アクチュエータの脱着、点検
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求(実習)		指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事			実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	126時間	週時間数	36時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・故障診断技術について理解する ・各種センサ、アクチュエーターの正常、異常の状態を把握する 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	フィット、ワゴンR、プリウス、エンジン電子制御			
授業外学習 の方法	レポート内容の復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	高度故障診断技術	サーキットテスタ、オシロスコープを使用しての故障診断	
	2	高度故障診断技術	外部診断機、振動・騒音分析器を使用しての故障診断	
	3	高度故障診断技術	エンジン警告灯点灯時の故障診断 論理信号センサ、リニア信号センサ、周波数信号センサ	
	4	高度故障診断技術	エンジン警告灯無点灯時の故障診断	
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	検査作業	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	45時間	週時間数	23.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の検査方法を理解する ・各テスターの使い方、検査の流れを覚える 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	フィット、ワゴンR、プリウス、点検記録簿、検査ライン		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	自動車点検整備	検査作業の進め方、記録簿の確認
	2	検査用機器装置	検査ラインを使用しての検査作業
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	サービス・マネジメント	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	45時間	週時間数	28.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客、工場の管理と経営の基礎を理解する ・整備前の問診からの確な車両の状態を把握できる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	点検記録簿、プリウス、リーフ		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	顧客工場管理	受け取り、納車、安全管理
	2	整備業務の実務	問診、整備説明
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	91.8時間	週時間数	16.2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・1級自動車整備士資格取得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級整備士過去問プリント・2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャシ・法令教本		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	2級問題の復習	2級エンジン分野過去問題 ガソリン
	2	2級問題の復習	2級エンジン分野過去問題 ガソリン
	3	2級問題の復習	2級エンジン分野過去問題 ガソリン
	4	2級問題の復習	2級エンジン分野過去問題 ガソリン
	5	2級問題の復習	2級エンジン分野過去問題 ジーゼル
	6	2級問題の復習	2級エンジン分野過去問題 ジーゼル
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	52.2時間	週時間数	16.2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・1級自動車整備士資格取得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級整備士過去問プリント・2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャシ・法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	国家2級整備士対策問題	2級エンジン分野過去問題 ジーゼル
	2	国家2級整備士対策問題	2級シャシ分野別過去問題
	3	国家2級整備士対策問題	2級シャシ分野別過去問題
	4	国家2級整備士対策問題	法令分野別問題
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務	指導担当者名	青木 将大
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	72時間	週時間数	10.8時間
学習到達目標	・社会人としてのマナーを身につける		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	面接対策 & ビジネスマナー		
授業外学習の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	言葉遣い	正しい言葉遣い・敬語を身につける 間違えやすい敬語
	2	エントリーシート・履歴書作成	エントリーシート・履歴書の書き方
	3	面接試験	面接試験の受け答えのマナー
	4	面接試験	スピーチの練習
	5	企業訪問	企業訪問の準備
	6	基本動作	姿勢・お辞儀の仕方
	7	基本動作	表情・発声練習
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	力学・数学	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、電子回路の仕組みを理解する ・自動車の振動、騒音のメカニズムを理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置、総合診断・環境保全・安全管理		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	電気・電子回路の測定技術	分解能(確度)
	2	電気・電子回路の測定技術	表示の誤差
	3	電気・電子回路の測定技術	分圧回路
	4	電気・電子回路の測定技術	分流回路
	5	シャシ電子制御装置振動・騒音	音圧レベル
	6	シャシ電子制御装置振動・騒音	振動周波数
	7	シャシ電子制御装置振動・騒音	アンバランス
	8	シャシ電子制御装置振動・騒音	アンバランス
	9	安全管理	災害の要因
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	力学・数学	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	3.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、電子回路の仕組みを理解する ・自動車の振動、騒音のメカニズムを理解する 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置、総合診断・環境保全・安全管理、公論社(練習問題)		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	安全管理	危険物の保管指定数量
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	エンジン電子制御装置のセンサ回路、アクチュエータ回路の構造・機能・点検方法を理解する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御装置、公論社(練習問題)		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおく ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	エンジン電子制御装置高度整備技術	概要、構造・機能・点検
	2	エンジン電子制御装置高度整備技術	センサ 論理信号センサ、リニア信号センサ、周波数信号センサ、その他のセンサ
	3	エンジン電子制御装置高度整備技術	アクチュエータ スイッチング駆動アクチュエータ、リニア駆動アクチュエータ
	4	エンジン点検・整備	ハイブリッド・システム点検・整備の注意点
	5	エンジン点検・整備	CNG自動車点検・整備
	6	エンジン点検・整備	CNG自動車ガスボンベの管理・検査
	7	エンジン点検・整備	筒内噴射式ガソリンエンジン 点検整備の要点高圧燃料系統、インジェクタ
	8	エンジン点検・整備	コモンレール式高圧燃料噴射システム 点検・整備 システム上の全般的な注意事項
	9	エンジン点検・整備	コモンレール式高圧燃料噴射システム 点検・整備 システム上の全般的な注意事項
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	3.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	エンジン電子制御装置のセンサ回路、アクチュエータ回路の構造・機能・点検方法を理解する。		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御装置、公論社(練習問題)		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	エンジン電子制御装置高度整備技術	通信信号、CAN通信システム、ECUの制御
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	63時間	週時間数	7.2時間
学習到達目標	シャシ電子制御装置のセンサ回路、アクチュエータ回路の構造・機能・点検方法を理解する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	シャシ電子制御装置、公論社(練習問題)		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	電子制御式A/T高度整備技術	概要、構造・機能・点検電源回路、センサ
	2	電子制御式A/T高度整備技術	アクチュエータ、ECUの制御フェイルセーフ機能
	3	電動式パワーステアリング高度整備技術	概要、構造・機能・点検電源回路、センサ
	4	電動式パワーステアリング高度整備技術	アクチュエータEPS・ECU回路
	5	アンチロックブレーキ高度整備技術	概要、構造・機能・点検電源回路、センサ
	6	アンチロックブレーキ高度整備技術	アクチュエータABS・ECU
	7	オートエアコンディショナ高度整備技術	概要、構造・機能・点検電源回路、センサ
	8	オートエアコンディショナ高度整備技術	アクチュエータ、オートエアコンECU
	9	振動・騒音高度整備技術	概要、振動と音 振動の表し方、音の表し方、測定機器
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	3.6時間	週時間数	7.2時間
学習到達目標	シャシ電子制御装置のセンサ回路、アクチュエータ回路の構造・機能・点検方法を理解する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	シャシ電子制御装置、公論社(練習問題)		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおく ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	振動・騒音高度整備技術	音の表し方、振動と騒音の防止計測機器
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	センサ・アクチュエータ回路の点検方法を習得する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御装置、公論社(練習問題)		
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断エンジン警告灯点灯時の点検・整備方法
	2	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断エンジン警告灯点灯時の点検・整備方法
	3	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断エンジン警告灯点灯時の点検・整備方法
	4	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断エンジン警告灯点灯時の点検・整備方法
	5	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断エンジン警告灯点灯時の点検・整備方法
	6	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断エンジン警告灯無点灯時の点検・整備方法
	7	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断 エンジン警告灯無点灯時の点検・整備方法
	8	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断エンジン警告灯無点灯時の点検・整備方法
	9	エンジン電子制御装置高度診断技術	故障診断エンジン警告灯無点灯時の点検・整備方法
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	3.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	センサ・アクチュエータ回路の点検方法を習得する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御装置、公論社(練習問題)		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	エンジン電子制御装置高度診断技術	CAN通信システムの点検・整備
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探究		指導担当者名	松崎 翔太	
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	32.4時間		週時間数	3.6時間	
学習到達目標	故障診断の方法を習得する				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 				
使用教材	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御、公論社(練習問題)				
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおく ・授業後の復習プリントなどの課題 				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	エンジン電子制御装置高度故障診断技術	故障診断の概要故障診断		
	2	シャシ電子制御装置AT高度故障診断技術	故障探求の進め方		
	3	シャシ電子制御装置AT高度故障診断技術	各センサの点検方法		
	4	電動パワーステアリング高度故障診断技術	各センサの点検方法		
	5	シャシ電子制御装置ABS高度故障診断技術	ダイアグノーシスを持つ場合の故障診断		
	6	ABS高度故障診断技術	各センサの点検方法		
	7	オートエアコン高度故障診断技術	各センサの点検方法		
	8	オートエアコン高度故障診断技術	各アクチュエータの点検方法		
	9	振動騒音高度故障診断技術	概要、振動と音、振動の表し方		
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探究	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	3.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	故障診断の方法を習得する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御、公論社(練習問題)		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおく ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	振動騒音高度故障診断技術	振動と騒音の防止、計測機器
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合診断	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	高度な知識と技術に裏づけされた診断能力、アドバイス能力を身に付ける		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理、公論社(練習問題)		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおく ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	自動車整備に関する総合診断	顧客満足度「CS」の概念 自動車関係法令の適切な運用とその活用
	2	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～問診)
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	環境保全	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	7.2時間
学習到達目標	自動車業界での環境保全の有り方について、知識を習得する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	総合診断・環境保全・安全管理、公論社(練習問題)		
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおく ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	地球規模の環境保全とその必要性	環境保全の現状、環境保全の必要性
	2	産業廃棄物処理の影響と対応	概要、産業廃棄物、使用済自動車、エアバック、カーエアコン用特定フロン、代替フロン、バッテリー、タイヤ、冷却水
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	安全管理	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	9時間
学習到達目標	整備作業時の安全管理を習得する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御、公論社(練習問題)		
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	火災のあらまし 災害防止	災害発生の仕組み、不安全行動と不安全状態 安全管理の作業能率、安全のルール、整理整頓
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	検査機器	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・検査用機械装置について理解する ・測定ができる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	整備作業機器		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	検査用機器装置	ブレーキテスト、サイドスリップテスト、ヘッドライトテスト スピードメータテスト、ホールアライメントテスト
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	検査学	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	9時間
学習到達目標	・検査学の基礎を理解する		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教本		
授業外学習の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	自動車の保安基準	自動車の構造
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車整備法規	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	14.4時間
学習到達目標	道路運送車両法を理解し、又保安基準と検査基準を学習することで自動車の法規についての知識を深める		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教本、公論社(練習問題)		
授業外学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当範囲を事前に読んでおく ・授業後の復習プリントなどの課題 		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	道路運送車両法	総則 自動車の登録等
	2	道路運送車両の保安基準	総則 自動車の保安基準
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	体験実習(インターンシップ)	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	135時間	週時間数	37.5時間
学習到達目標	企業での実習を通じて作業要領や仕事の流れを習得する 又、社会人としてのルールやマナーを身に付ける		
評価方法 評価基準	インターンシップへの取組み姿勢、毎日作成する実習レポートも考慮する		
使用教材	法令教材		
授業外学習 の方法	教科書を事前に読み保安基準を確認する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	企業研修	点検整備、接客対応
	2	企業研修	点検整備、接客対応
	3	企業研修	点検整備、接客対応
	4	企業研修	点検整備、接客対応
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	体験実習(インターンシップ)	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	105時間	週時間数	37.5時間
学習到達目標	企業での実習を通じて作業要領や仕事の流れを習得する 又、社会人としてのルールやマナーを身に付ける		
評価方法 評価基準	インターンシップへの取組み姿勢、毎日作成する実習レポートも考慮する		
使用教材	法令教材		
授業外学習 の方法	教科書を事前に読み保安基準を確認する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	企業研修	点検整備、接客応対、故障診断
	2	企業研修	点検整備、接客応対、故障診断
	3	企業研修	点検整備、接客応対、故障診断
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車の点検整備	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	144時間	週時間数	36時間
学習到達目標	高度な知識と技術に裏づけされた診断能力、アドバイス能力を身に付ける		
評価方法 評価基準	期末試験を実施 授業への取組み姿勢、各種テスト、レポートも考慮する		
使用教材	総合診断、口述対策テキスト		
授業外学習 の方法	教科書を事前に読み予習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	自動車の点検整備	エンジンの点検整備
	2	自動車の点検整備	エンジンの点検整備
	3	自動車の点検整備	シャシの点検整備
	4	自動車の点検整備	シャシの点検整備
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	108時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・1級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	故障原因探求	実習車両を使用しての点検整備実習
	2	エンジン故障原因探求	エンジン電子制御システム
	3	シャシ故障原因探求	シャシ電子制御システム
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	108時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・1級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	シャシ故障診断	電動パワーステアリング分解 故障原因探求
	2	シャシ故障診断	振動・騒音 の修理 振動・騒音計を使用し故障原因を推定する
	3	シャシ故障診断	振動・騒音 の修理 振動・騒音計を使用し故障原因を推定する
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合診断	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	243時間	週時間数	36時間
学習到達目標	高度な知識と技術に裏づけされた診断能力、アドバイス能力を身に付ける		
評価方法 評価基準	期末試験を実施 授業への取組み姿勢、各種テスト、レポートも考慮する		
使用教材	総合診断、口述対策テキスト		
授業外学習 の方法	教科書を事前に読み予習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	自動車の点検整備	エンジンの点検整備
	2	自動車の点検整備	シャシの点検整備
	3	故障原因探究	エンジンの故障原因探究
	4	故障原因探究	トランスミッションの故障原因探究
	5	故障原因探究	ABSの故障原因探究
	6	故障原因探究	EPSの故障原因探究
	7	故障原因探究	オートエアコンの故障原因探究
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	高度な知識と技術に裏づけされた診断能力、アドバイス能力を身に付ける		
評価方法 評価基準	期末試験を実施 授業への取組み姿勢、各種テスト、レポートも考慮する		
使用教材	総合診断、口述対策テキスト		
授業外学習 の方法	教科書を事前に読み予習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	自動車整備に関する総合診断	応酬話法 整備業務全般の実務受付～問診～診断～整備計画～引き渡し
	2	自動車整備に関する総合診断	応酬話法 整備業務全般の実務受付～問診～診断～整備計画～引き渡し
	3	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)
	4	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)
	5	自動車整備に関する総合診断	ロールプレイング(受付～引き渡し)
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	国家試験対策	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	14.4時間	週時間数	7.2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・1級自動車整備士資格取得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	1級自動車整備士過去問・エンジン電子制御・シャシ電子制御・自動車新技術・環境保全・法令		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	国家1級整備士対策問題	1級自動車整備士の過去問題復習
	2	国家1級整備士対策問題	1級自動車整備士の過去問題復習
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	国家試験対策		指導担当者名	松崎 翔太
実務経験				実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	1級自動車工学科4年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	21.6時間	週時間数	7.2時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・1級自動車整備士資格取得を目指す 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	1級自動車整備士過去問・エンジン電子制御・シャシ電子制御・自動車新技術・環境保全・法令			
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	国家1級整備士対策問題	1級自動車整備士の過去問題復習	
	2	国家1級整備士対策問題	1級自動車整備士の過去問題復習	
	3	国家1級整備士対策問題	1級自動車整備士の過去問題復習	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施				